

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月23日更新

事務事業名	工業用水道事業経理事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部 水道局
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進		所属課 上下水道課
体系	施策の柱	40	企業誘致の促進		担当者名 吉岡 麻理沙
	会計企業	款	項	目	事業連番
予算科目	地方公営企業法				根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	熊本県が平成8年度から造成を開始したセミコンテクノパーク(合志市及び菊陽町にまたがる区域: 当時は第2テクノパーク)内のインフラ整備として、工業用水道の建設も8年度から始まり、平成10年4月に一部給水開始、12年度に区域全体へ給水し、18年度には菊陽町が造成した原水工業団地への整備も図られている。 平成9年度から、地方公営企業法の適用を受け、工業用水道事業会計として運営及び経理を行なう事務である。 給水収益のほか、不足する経費については、合志市及び菊陽町の双方からの費用負担を受けて経営しており、平成9年度は、建設事業のみであったが、10年度1社、13年度3社、14年度1社(現在工業用水休止)、16年度1社、19年度1社、23年度1社、26年度1社、27年度2社にそれぞれ供給開始しており(休止: 25年度1社、平成26年度1社)現在計8社に工業用水を供給している。
【業務の流れ】	工業用水道事業会計における調定・支払事務 ②会計規程及び法令に基づく、日次・月次・年次の帳簿及び財務諸表の作成 ③毎事業年度終了後、2ヵ月以内に決算を調製し、市長(財政課)へ提出 ④一般会計予算の編成方針・要領等を踏まえ、工業用水道事業会計の次年度予算を作成 ⑤必要に応じて予算の補正
【主な予算費目】	収益的支出: 総係費(旅費・負担金・賃借料以外)、減価償却費、資産減耗費、営業外費用、特別損失、予備費 資本的支出: 備消耗品費(量水器関係以外)
【意見や要望】	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・ 調定・支払事務、日次・月次報告、財務諸表作成、会計監査の対応 ・ 予算書の作成及び予算執行状況の把握・管理、決算書の作成 ・ 各種負担金(セミコンテクノパーク関連、消火栓設置など)の請求	前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 伝票処理件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
工業用水道事業会計	→ ア: 正確に処理した伝票の件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
健全に経営するため、正確かつ適切に処理する。	→ ア: 伝票を正確に処理した件数の割合
	%
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
・ 毎日の収納状況、支払状況を正確に把握しなければならないため、伝票を正確に処理する必要がある。 ・ 目標値設定は、100%とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	件	560	564	550	544	550	550	550	550
	イ									
② 対象指標	ア	件	560	564	550	544	550	550	550	550
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	20,020	18,411	25,000	16,153	25,000	25,000	25,000
		繰入金	千円			3,500		3,500	3,500	3,500
	一般財源	千円								
人 件 費	(A) 事業費計	千円	20,020	18,411	28,500	16,153	28,500	28,500	28,500	
	(A)のうち指定経費	千円	19,788	18,257	27,100	15,976	27,100	27,100	27,100	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	1,713	1,394	3,984	1,076	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,733	19,805	32,484	17,229	32,484	32,484	32,484	32,484	

事務事業名	工業用水道事業経理事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 確実な事務処理に務めることで、目標を達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 正確な処理を成果としており、向上の余地はないが、これを継続していくことをめざす。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な事務であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 合志市及び菊陽町からの負担を受け、常に最少の事業費で取り組んでおり、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で、他の事務との兼務で当たっており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 区域(セミコンテクノパーク)内の立地企業すべてに受益機会があり、負担も平等であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現段階では行政の役割は適正で見直しの余地はないが、将来的に、事業の運営及び経理主体の見直しを検討する可能性はある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

工業用水道事業の経営及び経理について、健全な経営と正確かつ適切に処理するという目標は達成できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						